

ここが聞きたい!

一般質問



議員が市の行政全般にわたって、市長・教育長等の方針、見解、事実の説明、報告を求めるものです。

今定例会では23人が質問しました。

※本文は質問者が執筆したものを編集しました。

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、その議員の一般質問の動画が視聴できます。



学校の働き方改革
部活動の改革を!
こんどう彰治（政新クラブ）



問／学校の部活動の地域化をどう進めるのか。
答／国は、令和5年度から休日の部活動の地域移行を実施するよう進めている。市では、改革の概要や現状を総合型地域スポーツクラブやPTA連絡協議会などに説明してきた。小学5、6年生、中学生、保護者に「部活動改革だより」を発行し、改革の概要を知らせている。7月に開催予定の（仮称）上越市部活動改革に係る検討委員会で、関係団体と協議・調整を図る。
問／クラブ参加経費の補助や減免制度は。
答／国の動向を注視しながら、補助制度や減免制度などを慎重に検討する。
問／スポーツ団体公認のコーチ資格がないと、大会参加を認めない場合が考えられるがどうか。
答／日本中学校体育連盟が主催する全国中学校体育大会では、そのような制限がないため、地域移行を見据えた参加要件が示される中で、内容に応じて対応していく。

焼失した南葉山荘の再建を

問／火災による災害共済金の支払いはあったか。
答／本年4月に約1、132万円が入金された。
問／入金された災害共済金で施設を再建できるのではないか。
答／稼働率が焼失前の3年間で20%と低く、既存の学習休憩棟で補える。再建の考えはない。



少子高齢化等の中で
今後の自主防災組織は
橋本 洋一（久比岐野）



問／人口減少・少子高齢化・コロナ禍などにより、地域コミュニティの維持が危惧されている中、今後の自主防災組織のあり方についての考え方はどうか。
答／コロナ禍の影響等により、活動が停滞している組織が見られるほか、特に高齢化が著しい中山間地域の自主防災組織などでは、活動の継続も懸念される場所である。

市では、防災プロジェクトの中で、停滞した自主防災活動の再開を促すとともに、避難行動要支援者の確実な避難体制の確保を進めている。また、活動の継続が危ぶまれる組織の実態や事情を聞き、近隣の自主防災組織との相互連携や協力体制の整備などに努めていきたい。

近年、激甚化や頻発化する災害に対応するため、市民自らが災害に備える「自助」の取組と、地域住民相互のつながりによる「共助」の取組が大切になる。市としては、防災プロジェクトの取組を通じて、地域における災害対応力の強化に努めていきたい。



防災訓練の様子